

白山ミュージアム



千代女の里俳句館外観

「朝顔や釣瓶とられてもらひ水」の句を詠んだ江戸時代の女流俳人「加賀の千代女」。千代女を生んだ白山市は、古くから俳句が盛んで、多くの俳人達が行き交つてきました。

現在、市内には25の俳句団体があり、毎日のように句会が開かれています。また、今年第91回を数える千代女全国俳句大会や、市内各所に設置された俳句ポストにも全国各地から投句があります。

「千代女の里俳句館」は、白山市民がつちかつて來た歴史をふまえ、俳句を通して交流・体験活動のための拠点として、平成十八年十月一日、JR松任駅前に開館いたしました。

現在白山市営の文化施設は計6館となり、各館の特色を生かした展示を行っています。

contents

■ 白山市立松任博物館	2	■ 千代女の里俳句館	7
■ 白山市立鶴来博物館	3	■ 平成19年度行事予定	8
■ 松任中川一政記念美術館	4	■ ご寄付ありがとうございます	8
■ 白山市立鳥越一向一揆歴史館	5	■ 探しています!!	8
■ 白山市立石川ルーツ交流館	6	■ 編集後記	8

白山市の歴史と文化を紹介しています

「白山市立松任博物館」

道俱楽部の協力によりNゲージの大ジオラマを展示・運行

したほか、白山一里野鉄道俱

樂部によるミニSLを計11回

運行するなど、会期中は小中

学生を中心にして、過去最高

の入館者数を記録するなど、

大変好評を博しました。

●土に生きる慶び

（藤井信之展）

平成18年4月29日（土）
～5月21日（日）

●地のカケラ

（土田佳代子展）

平成18年6月3日（土）
～6月25日（日）

●大きな鉄道展

平成18年7月15日（土）
～8月27日（日）

●わたしの宝物展

平成18年9月23日（土）
～10月22日（日）

●でくのひとりごと展

平成18年11月3日（金）
～12月17日（日）

●鉄道の広場

平成19年2月18日（日）

●ペニンス市文化交流企画展
（セントメリーズの
トラックステーション）

平成19年3月28日（水）
～4月15日（日）

そして北陸新幹線について、
金沢総合車両所や大阪・交通
科学博物館、滋賀・長浜鉄道
スクエア等
関係機関の
協力を得て、
貴重な資料
を展示して、
北陸における
鉄道史の
変遷について
紹介しま
した。また、
福井県の鉄
道愛好家よ
りお借りし
た、北陸本
線を走行し
たC57形蒸
気機関車な
どの精巧な
模型の展示、
白山模型鉄

明治5年9月にわが国で初
めて、東京～横浜間の鉄道が
開通してから、平成18年で1
34年目となります。石川県
では明治31年に北陸本線の米
原～金沢間が開通し、今日ま
で北陸の大動脈として発展を
遂げてきました。また、昭和
10年には松任工場（現金沢総
合車両所）が現在の地に移転
し、鉄道の安全を守る拠点と
して、今日も市民に親しまれ
ています。平成18年には松任
工場が移設して70周年の節目
にあたり、また白山市内に北
陸新幹線白山総合車両基地の
建設が正式に認可されたこと
を踏まえ、白山市の鉄道史に
新たな1ページを飾るべく同
特別展を企画しました。

展示については明治～現在、

特別展を企画しました。



Nゲージ前には多くの子供が集まっていました

4教室計5回実施
(体験教室)

平成18年度 展覧会等実績

古代からりの営みを今に伝える

「白山市立鶴来博物館」

「鶴来桜伝説展」

桜は、もともと日本・中国・

朝鮮半島の山間部に原生していました。日本では、平安時代頃から山桜を里に移植し愛でるという風習が行われておられます。江戸時代には、名品種や珍品種などを掛けあわ

せ五百種ぐらいの樹種があつたとされています。江戸時代の人々は、自宅の庭で桜

を愛するため私財を惜しまず山から桜を移植した逸話が多く残っています。そういう人々を「桜狂」と掛けて「桜卿」と研究者の中では言つております。江戸時代から

桜の咲く時期にあたとされており、平成十八年度春まで2回目の展示を行いました。

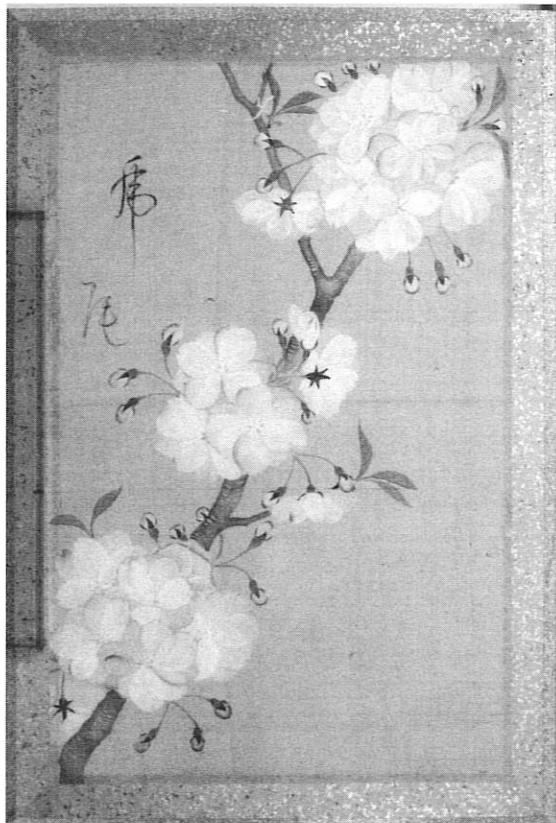
氏は戦前・戦後ともに兼六園や金沢の桜の保護と植樹を多くおこないました。県樹木公

園（市内三宮町）の約百五十種の桜は氏の植樹によるものです。また氏のコレクションは、江戸中期の桜画派三熊派の桜図譜が主で全国の貴重品種が描かれております。氏のコレクションから江戸の「桜卿」の人々の心に触ることができます。

鶴来で酒屋と薬業を営む米屋十二代目主人長基健治氏（一八九八～一九八五）がその「桜卿」の一人です。



長基健治（1898～1985）



二熊露香画「桜花圖」（寛文九年長基家蔵）全国の三十六種の名桜の図譜

（文責・小阪

平成18年度企画展示会実績	
● 白山への道 —描かれた絵図—	平成18年4月8日（土）～5月14日（日）
● 白山麓を走った鉄道展	平成18年7月22日（土）～9月10日（日）
（11月19日（日）	

白山市立鶴来博物館

〒920-2111 石川県白山市鶴来朝日町81番地

TEL.0761-93-1522

開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

日本画壇の巨匠

「白山市立松任中川一政記念美術館」

はないでしょうか。

記念事業として、「文弥・でくの舞」・「ステージ美術館」を開催しました。東二口・文弥人形浄瑠璃保存会（国指定重要無形文化財）の皆さんによつて上演された「出世景清」

★第12回 花を描こう絵画展
画伯の姿勢にない、県下小中学生より「花」の絵を公募し、厳正なる審査の上、個人並び学校を選定し、表彰する公募展です。これによつて個々の感性を磨くとともに、自然に対する慈しみの心を育ててもらいたいと、毎年開催しています。本年は2046点も

当美術館は文化勲章受賞者、故中川一政氏より作品の寄贈を受け、昭和61年10月に開館し、昨秋開館20周年を迎えた。

これまで県内外より多くの一政ファンに来館して頂いています。現在234点の作品を収蔵し、特別展は隔年、常設展は年3～4回、展示替により新鮮な雰囲気で見て頂いています。

★開館20周年特別展

「私は木偶である」
～中川一政・さらなる世界～
会期 9月16日（土）～11月12日（日）

「木偶」にとらわれず、広
いた。



く人間中川一政を知つてもらおうと、処女作「酒倉」から、絶筆「静物（薔薇）」まで、画業77年を一堂に紹介するとともに、画伯が遊び心でデザインしたネクタイ32本も展示

し、デザイン感覚豊かな一政、茶目っ氣たっぷりの一政をたっぷりと堪能して頂いたので演奏のチエロの音色がつかの間の心の休息を与えてくれました。

★出張美術館

中川一政が長年にわたって築いた画業やその作品などについて、広く市民の方々に知って頂く為に、写真パネルや画集、ビデオなどを使って、学校・公民館・公共施設など、それぞれの場所で展示しています。18年度は鶴来地区の5公民館で展示しました。19年度は白山麓小中学校で展示します。（文責・柏野）

●ステージ美術館
舞台の上に、本物の作品を展示し、毎回ステキなゲストの方をお迎えしています。今年も更にグレードアップした内容でお届けする予定です。

朗読される江守氏

松任ふるさと館にて上演されたでくまわし

加賀一向一揆の歴史を今に伝える

「白山市立鳥越一向一揆歴史館」

白山市立鳥越一向一揆歴史館

〒920-2368 石川県白山市出合町甲26番地

TEL:0761-94-8020

開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



一向一揆歴史館前景

として、北陸一円に本願寺門徒が増大したことから、これまでの、福井県・滋賀県・富山県・岐阜県の一向一揆関連特別展をふまえ、再度、これらの一揆高揚の要因となつた、吉崎の地を訪ね「吉崎と一向一揆」の特別展を実施し

ました。蓮如が吉崎に居住することは、蓮如自身が明確に述べないことから明らかにできませんが、本願寺の支援者であつた本覚寺・超勝寺をたよつた本覚寺・超勝寺をたよつたものと思われ、遠因としては、比叡山等の弾圧が推測されます。吉崎御坊跡に蓮如が疲れ吉崎に本願寺八代門主蓮如が居住し、北陸一円に精力的な布教活動を行つたことを機縁

鳥越一向一揆歴史館は、平成13年に開館しました。施設の建設目的は国指定史跡鳥越城跡附二曲城跡の史跡を管理・活用し、一向一揆の歴史的事実の啓蒙普及を目的としてい

ます。開館以来毎年一向一揆と関連した特別展を開催し、平成18年度特別展は、福井県吉崎に本願寺八代門主蓮如が居住し、北陸一円に精力的な布教活動を行つたことを機縁

として、北陸一円に本願寺門徒が増大したことから、これまでの、福井県・滋賀県・富山県・岐阜県の一向一揆関連特別展をふまえ、再度、これらの一揆高揚の要因となつた、吉崎の地を訪ね「吉崎と一向一揆」の特別展を実施しました。「白山麓を走った鉄道」

ました。蓮如が吉崎に居住することになつた要因については、蓮如自身が明確に述べないことから明らかにできませんが、本願寺の支援者であつた本覚寺・超勝寺をたよつたものと思われ、遠因としては、比叡山等の弾圧が推測されます。吉崎御坊跡に蓮如が疲れ吉崎に本願寺八代門主蓮如が居住し、北陸一円に精力的な布教活動を行つたことを機縁

ました。蓮如が吉崎に居住することになつた要因については、蓮如自身が明確に述べないことから明らかにできませんが、本願寺の支援者であつた本覚寺・超勝寺をたよつたものと思われ、遠因としては、比叡山等の弾圧が推測されます。吉崎御坊跡に蓮如が疲れ吉崎に本願寺八代門主蓮如が居住し、北陸一円に精力的な布教活動を行つたことを機縁

ました。蓮如が吉崎に居住することになつた要因については、蓮如自身が明確に述べないことから明らかにできませんが、本願寺の支援者であつた本覚寺・超勝寺をたよつたものと思われ、遠因としては、比叡山等の弾圧が推測されます。吉崎御坊跡に蓮如が疲れ吉崎に本願寺八代門主蓮如が居住し、北陸一円に精力的な布教活動を行つたことを機縁

ました。蓮如が吉崎に居住することになつた要因については、蓮如自身が明確に述べないことから明らかにできませんが、本願寺の支援者であつた本覚寺・超勝寺をたよつたものと思われ、遠因としては、比叡山等の弾圧が推測されます。吉崎御坊跡に蓮如が疲れ吉崎に本願寺八代門主蓮如が居住し、北陸一円に精力的な布教活動を行つたことを機縁

「石川県」のルーツを紹介しています

白山市立石川ルーツ交流館

持ちから企画いたしましたが、
来館を機に刺繡教室の生徒になられた方もいらっしゃるとお聞きし、大変うれしく思つております。

平成18年度 実績

お聞きし、大変うれしく思つております。

(文責・早松) 

「美川刺繡物語」展

美川刺繡は、国指定の伝統

工芸の加賀縫いのこととで、旧美川町に刺繡をする人が大勢いたため、そう呼ばれています。明治23年に餅田半次郎氏が京都から教師を招き、子女にハンカチ刺繡を習得させたのが、はじまりとされています。当時廻船業が不振となるなか、有望な手内職として輸出向けハンカチ用の刺繡に着目しました。それから美川仏壇と共に旧美川町の伝統工芸として、今日まで受け継がれてきました。

当館で刺繡の展示を行うのは初めてでしたが、国指定の伝統工芸士の故三輪ミトリ氏、奥田恵子氏をはじめ、多くの方に大切な作品をお貸しいただき、昭和初期と現在の作品

の色・デザインの違いなどを実際目にしていただくことが出来ました。

また、初めて半襟刺繡を行つた吉井與一郎氏のお孫様から自筆の書や、商いで足を運んだ地を記した図などをお貸しいただき、改めて吉井氏のご苦労と美川刺繡を全国に広められた功績が浮かびあがつてきました。

合併し、白山市となつたことで、より多くの人に美川刺繡のこと



刺繡された額、衝立、留袖等を展示しました

●篠笛コンサート

八木繁・粂音会

平成18年4月2日(日)

●前一彦絵画展

ふるさとに育まれて

平成18年4月15日(土)

●おかえり祭り展

心躍る一日間

平成18年5月13日(土)

●堆黒の世界展

心躍る一日間

平成18年9月2日(土)

●美川刺繡物語

心躍る一日間

平成18年11月11日(土)

●セピアな風景展

心躍る一日間

平成19年2月3日(土)

●夏休み子ども博物館

心躍る一日間

(体験教室)

2教室計4回実施

白山市立石川ルーツ交流館

〒920-0000 石川県白山市美川南町又138番地1
TEL:076-278-7111
開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

俳句を通した市民交流の拠点

「千代女の里俳句館」

草風庵をイメージして、エピソードをアニメーションで上映しています。

その他の施設の利用

俳句館では、常設展示室以外は、無料でご利用できます。

千代女の里俳句館は、鉄筋コンクリート造2階建、延床面積一千二百七十七平方メートル、町屋風の外観を持つ建物です。

俳句館は俳句を通した市民交流施設であるとともに、最新の機器を使った現代的な常設展示室を持っています。

展示室の入口では、今日の季節を感じるためのアニメーションを放映しています。

季語に包まれるような天井の壁は、季節ごとに季語を紹介しています。また、三つのブースでは、季節の中目にする祭礼や行事、いきものの声や天空にくりひろげる自然の風景、忘れられない思い出から生まれた俳句が紹介されています。

隣接するふると館もあわせてご利用下さい。

句会などの利用

和室は、庭を見ながらの休憩や句会に使用できます。お

え、中の間、奥の間の三室が

あり、俳句館受付に申し込めば、無料でお使いできます。研修室は、百人程度が利用できる講座室で、句会にも使用できます。

講座などのご案内

● 全国俳句大会

千代女俳句館では、毎年千代女を記念して全国俳句大会が開催されています。また、千代女が生きた時代を説明しています。

● 千代女講座

歴史や俳句の愛好家を中心とした千代女研究の場を提供いたします。

(文責・金山)



常設展示室

句集ライブラリーでは、千代女に関する書籍と、寄贈された句集（約三千冊）が閲覧できます。また、AV室では俳句に関連する映像を放映しています。企画展示室では白山市内の俳人の句や作品などを中心に適時テーマ展示しています。

俳句館受付にて、休憩や句会に使用できます。お問い合わせください。

● 市民俳句教室

俳句館では、初心者が気軽に参加できる入門講座を開催しています。

● 少年少女俳句塾

学校での活動を通じて興味をもつた子供達を対象に、休み期間を利用して、少人数の俳句塾を開催いたします。



常設展示室

千代女の里 俳句館

〒924-0885 石川県白山市殿町57番地1

TEL.076-276-0819

開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

平成19年度行事予定

事業計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
松任博物館		梶野玄山 作品展		常設展示		日本の技 一紙のある暮らし一展		常設展示		白山を愛した 作家たち展		
鶴来博物館	鶴来桜 伝説展		常設展示	白山への道展	常設展示	小川直子展		常設展示				
中川一政 記念美術館				常設展示（会期中、出張美術館、花を描こう絵画展、講演会・ステージ美術館を実施予定）								
鳥越一向一揆 歴史館		鳥越地内の絵馬展		北陸一向一揆の中世城郭		織田信長と一向一揆			常設展示			
石川ルーツ 交流館		おかげ祭 文人達に愛された 小舞子海岸展				常設展示						
千代女の里 俳句館				常設展示（会期中、講座や俳句大会等を実施予定）								

※詳細については各館までお問い合わせください

探しています!!

石川ルーツ交流館では、6月に餅田半次郎氏が開拓した小舞子海岸の展示を行う予定です。

その時展示させていただく小舞子海岸の絵葉書、パンフレット、お土産のパッケージ、餅田半次郎氏の縁の品々をお持ちの方がいらっしゃいましたら、5月11日(金)までにご連絡いただければ幸いです。

連絡先 石川ルーツ交流館まで
☎076-278-7111

ご寄付ありがとうございます

松任博物館

●馬具ほか

八田町 多葉田 茂 様

鶴来博物館

●昭和2年石川県能美郡尾口村治一覧表

八幡町 三納 嘉一 様

●釜谷村助衛門家文書ほか

野々市町 田中 利一 様

●碓井梅嶺旧宅図（複製）

鶴来本町 長基 健司 様

●堀喜幸肖像画

鶴来日詰町 汐井 絹江 様

平成18年
年関係

編 集 後 記

白山市が誕生してから初となる、6館合同の文化施設館報を制作しました。何しろ初めての試みだったため、内容的にはまだ不十分な部分がありますが、今後も試行錯誤を繰り返しながら、館報を発行していきたいと思います。ご感想等がありましたら、最寄りの館までご意見をお寄せいただければ幸いです。（法）